

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア


















インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/15 （6/8との比較）	6/15 （6/8との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.22% （▲0.10）	83.93円 （▲0.95%）	+2.3% 2018年1Q	1.25%	発表された新築住宅価格指数（前年比）は市場予想を下回る結果。米中貿易摩擦拡大懸念やOPEC（石油輸出国機構）による増産計画を背景に原油価格が下落したことなどから、カナダドルは対円で下落。国債利回りは低下。	小売売上高やCPI（消費者物価指数）などが発表予定。週末にかけてOPEC総会が開催されることから、原油価格の動向には注意が必要。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	10.79% （+0.64）	29.67円 （+0.44%）	+1.2% 2018年1Q	6.50%	発表された小売売上高（前年比）は市場予想を上回る結果。大統領選挙をめぐる不透明感は漂うものの、中銀が通貨押し上げに向け、通貨スワップ入札を実施したことなどから、レアルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	金融政策決定会合などを予定。為替相場が揺れる中、政策金利の据え置きを予想。中銀が市場への積極的な介入を示唆していることなどから、債券・為替市場は概ねレンジ内での推移を想定。
	Ba2	 金利低下	 金利低下	 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	8.07% （+0.22）	5.37円 （▲0.62%）	+1.3% 2018年1Q	7.50%	発表された鉱工業生産や製造業生産は市場予想を上回る結果だったものの、不透明感が漂うNAFTA（北米自由貿易協定）再交渉などから、メキシコペソは対円で下落。国債利回りは上昇。	特段重要な経済指標等の発表はなし。引き続きNAFTAの再交渉や、7月の大統領選挙をめぐる不透明感が残ることなどから、債券・為替市場はともに上値の重い展開を予想。
	A3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/15 （6/8との比較） 今後の見通し （※4）	6/15 （6/8との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.69% （▲0.08）	82.35円 （▲1.09%）	+3.1% 2018年1Q	1.50%	発表された失業率や労働参加率は市場予想を下回る結果。米中貿易摩擦をめぐり、米国による対中制裁関税リストの詳細に対する警戒感などから、豪ドルは対円で下落。国債利回りは低下。	住宅価格指数などが発表予定。国内イベントは少ないものの、週末にかけて開催されるOPEC総会において、減産措置継続が決定し、コモディティ価格全般が上昇するかに注目。為替市場は下値を探る展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.92% （+0.09）	76.90円 （▲0.21%）	+2.9% 2017年4Q	1.75%	発表された製造業活動指数は弱めの結果。FOMC（米連邦公開市場委員会）やECB（欧州中央銀行）理事会などの重要イベントを受け、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	消費者信頼感指数や経常収支、GDP（国内総生産）などの重要指標が発表予定。基本的には底堅い景気状況が示される見込み。債券・為替市場はともに方向感に乏しい展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.84% （▲0.02）	13.63円 （+0.09%）	+0.3% 2018年1Q	0.50%	発表されたCPIは市場予想を下回る結果となった一方、石油を除いたPPI（生産者物価指数）は前年比で前回から伸びが加速。海外での重要イベントを受け、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	金融政策決定会合などを予定。政策金利は据え置かれる見込み。夏以降に実施が示唆されている、利上げに対する観測の変化には注目。方向感が掴み難く、債券・為替市場はともに一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/15 （6/8との比較）	6/15 （6/8との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	8.38% （+0.10）	8.24円 （▲1.48%）	+0.8% 2018年1Q	6.50%	発表された小売売上高は市場予想を下回る結果。格付会社フィッチは、南アフリカの自国通貨および外貨建て債務格付けの据え置きを決定。新興国市場全般に対する警戒感などから、ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	CPIや経常収支などが発表予定。大統領交代後の経済データが軟調となる中、国内経済の動向には注目。市場全般に新興国資産に対する警戒感が残ることなどから、債券・為替市場はともに上値の重い展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.02% （+0.00）	0.79円 （+0.61%）	+5.1% 2018年1Q	4.75%	特段重要な経済指標等の発表はなし。断食明け大祭などの大型連休により1週間休場であったため、国債利回りは横ばい。インドネシアルピアは対円で上昇。	特段重要な経済指標等の発表はなし。米国で年内あと2回の追加利上げが見込まれる中、米ドル高や米国金利上昇への警戒感が根強く、国債利回りは上昇しやすい地合いを予想。ルピアは引き続き底堅く推移する見込み。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
インド 	BBB-	8.01% （▲0.07）	1.63円 （+0.27%）	+7.7% 2018年1Q	6.25%	発表されたCPIは市場予想を下回る結果だったことから、中銀がさらなる政策金利の引き上げに動く可能性は低いと受け止められ、国債利回りは低下。インドルピーは対円で上昇。	特段重要な経済指標等の発表はなし。インドは世界3位の石油輸入・消費国であることから、週末にかけて開催されるOPEC総会による、原油価格の動向には注意が必要。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

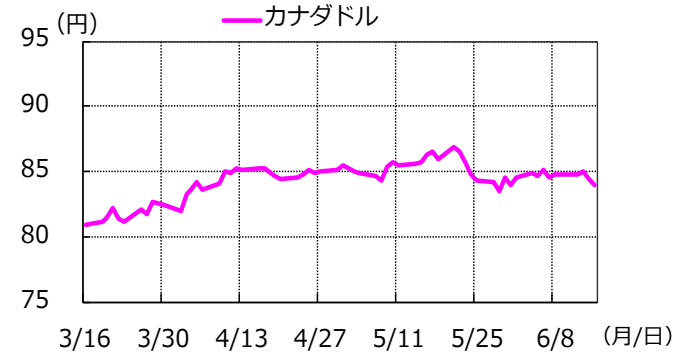
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

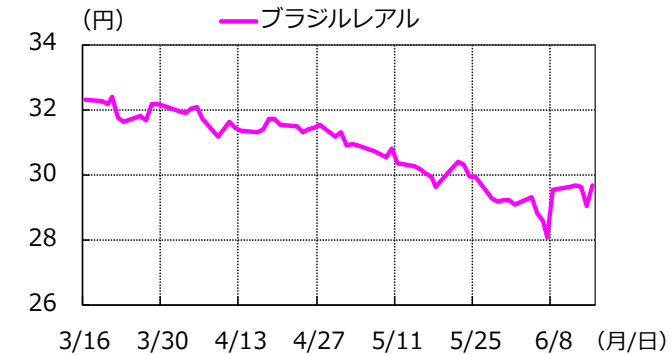
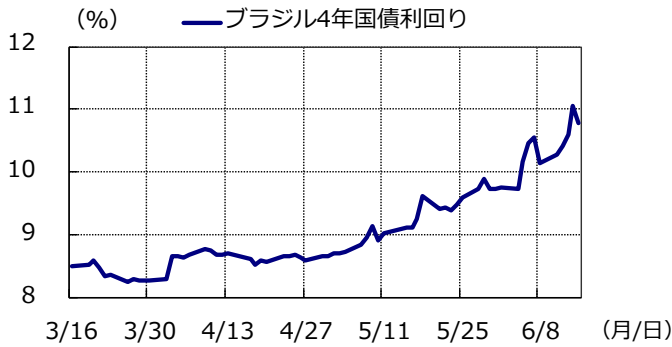
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/3/16～2018/6/15

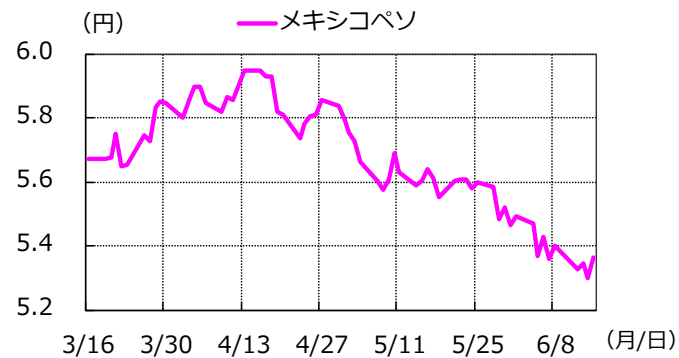
カナダ



ブラジル



メキシコ

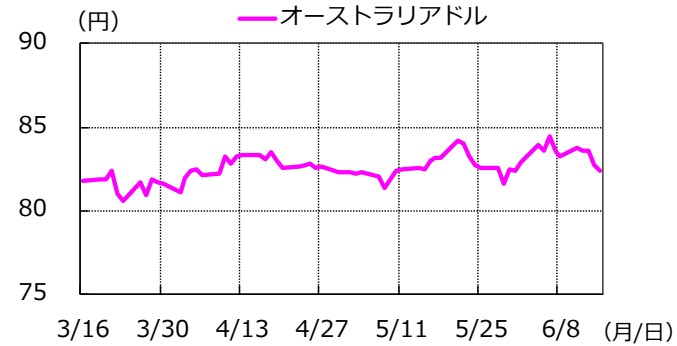
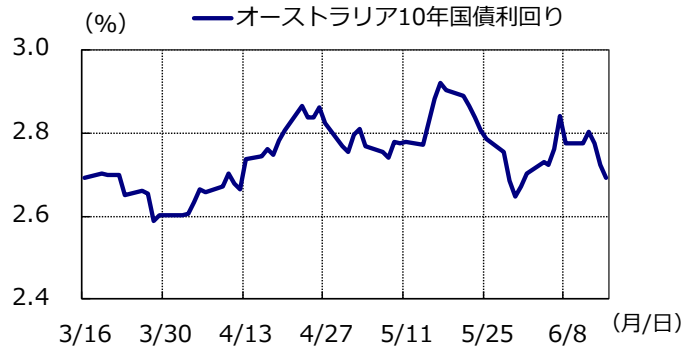


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

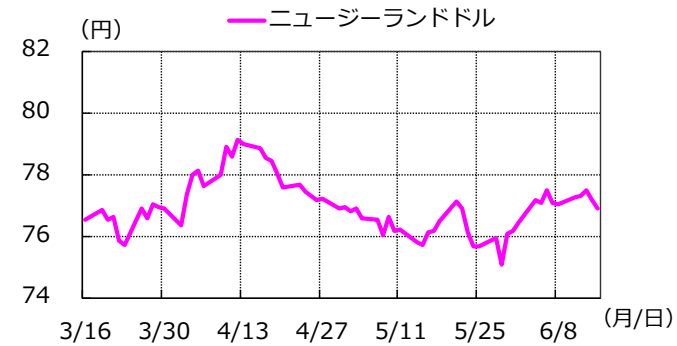
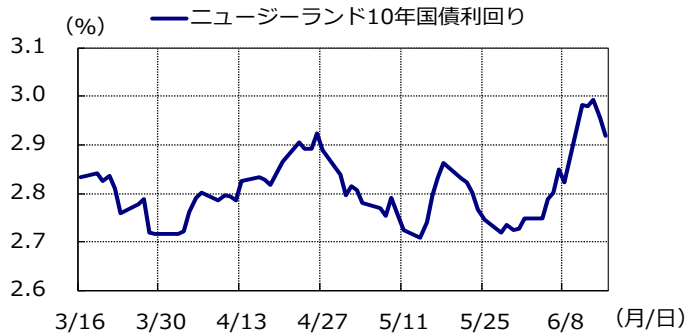
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/3/16～2018/6/15

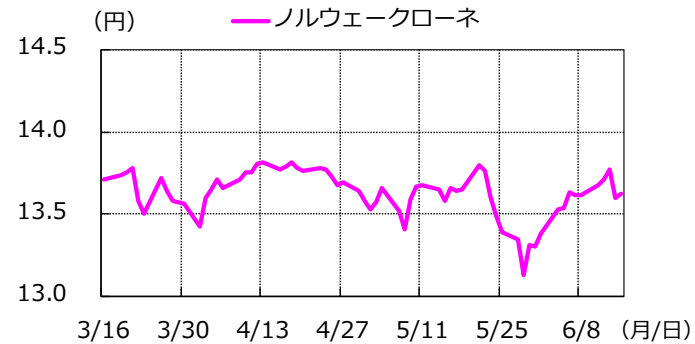
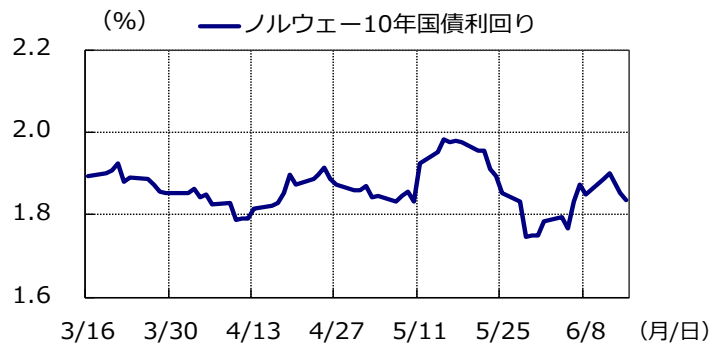
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

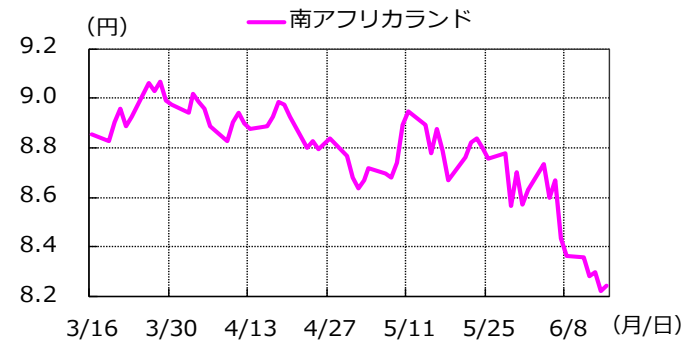
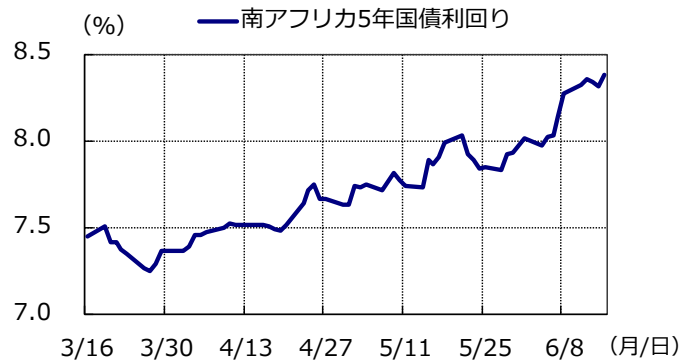


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

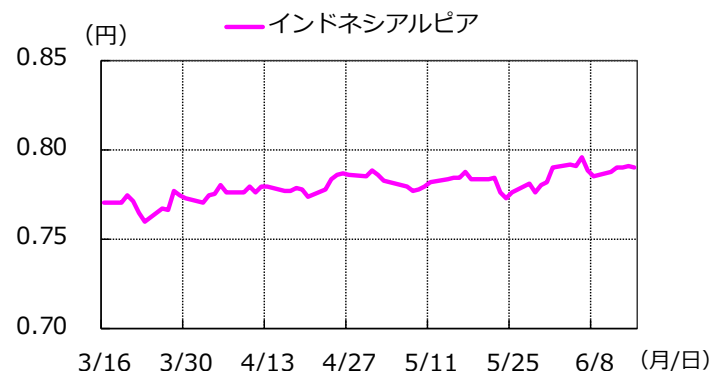
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/3/16～2018/6/15

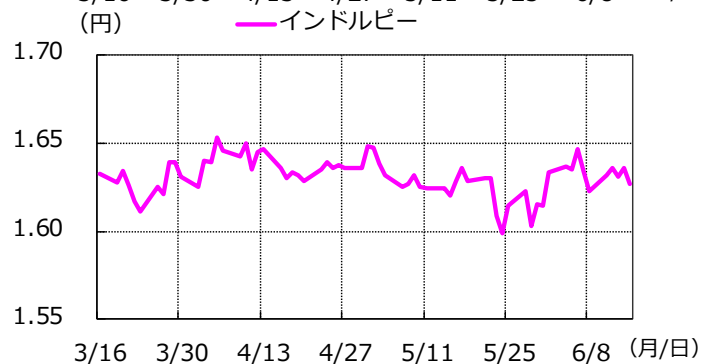
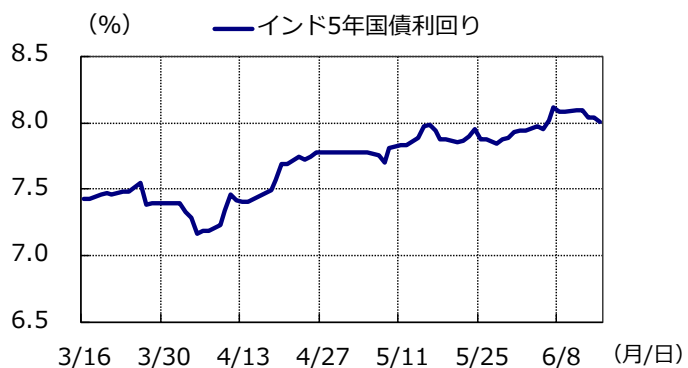
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。